## Drupal™

## デザインの基礎 (英文資料を読みながら)

Drupal のデザインをやさしく学ぶ勉強会

第1回

開催日 2015年7月14日(火) 18:30-20:45

## 目次

I.	はじめに
II.	復習 デザインの作り方、管理
	デザインテンプレートの基本
	テンプレートファイルの簡単な実習
	テンプレートのまとめ
III.	ベーステーマでサブテーマを使ってみよう14
	Omega の場合
	Adaptivethmes の場合
IV.	デザイン勉強用の環境18
V.	Acquia Dev Desktop 2 Beta 2014 年版19
	Acquia DevDesktop のインストール
	英語環境から日本語へ
VI.	Theming Drupal 6 and 7
	How the Drupal theme system works
	Working with CSS
	Working with JavaScript and jQuery
	Advanced theming
	Core templates and suggestions
	Drupal User Profiles with CiviCRM Contact Fields
	Overriding themable output
	Tools, best practices and conventions
	Upgrading a theme to a new version
	More theming resources and guides
	Theme HowTos
	Theme snippets
	Core themes
	Contributed themes
VII.	クレジット、謝辞、ライセンス49
	クレジット
	謝辞

### はじめに

Drupal で Web デザインを開発する方法を基礎から学ぶ勉強会です。

Drupal 7 から始めて、Drupal 8 がリリースされた段階から、Drupal 8 も学びます。また、オリジナルのデザインテンプレートを作るほかに、良く使われている Drupal のベーステーマ、Omage、Zen、Adaptivethmes、Bootstrap なども学びます。

### 復習 デザインの作り方、管理

Drupal 7 のデザインテーマの技術情報(英文)は https://www.drupal.org/theme-guide/6-7

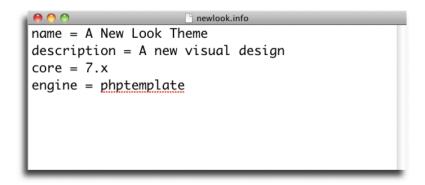
Drupal 7 のテーマとデザイン開発の技術情報(英文) https://www.drupal.org/theming

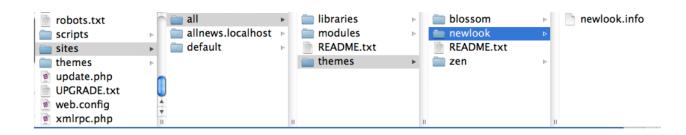
簡単に説明します。

#### デザインテンプレートの基本

Drupal をインストールしたディレクトリで、テーマが入っている …/sites/all/themes にテーマーテンプレートが入っています。 以下の説明は blossm, newlook, zen というテンプレートが入っています。Newlook というテンプレートの基本情報ファイルとして newlook.info があります。 必ず、 テーマ名.info というファイルを作成します。 そのファイルの中出、 name は必ずテンプレートごとに異なる名前で記入します。Drupal が起動するときにテンプレートの種類をこの名前で認識します。

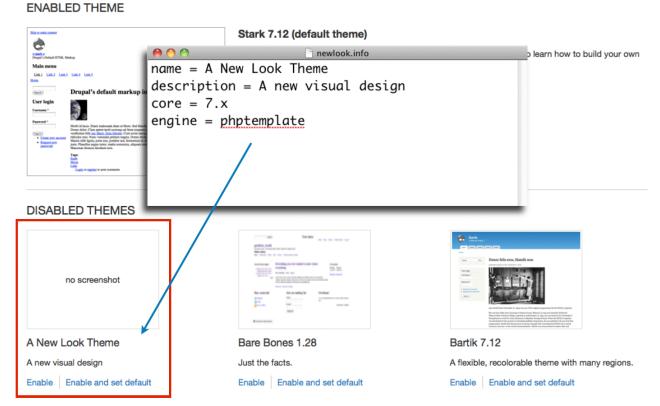
## Making a theme in Drupal

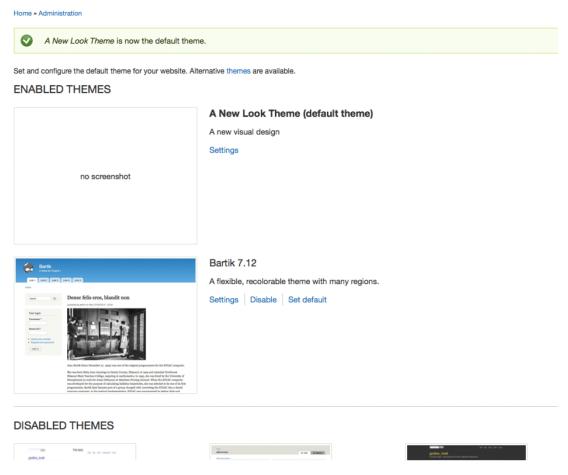




管理画面 -> テーマ で作成した newlook.info が認識されていることを確認します。

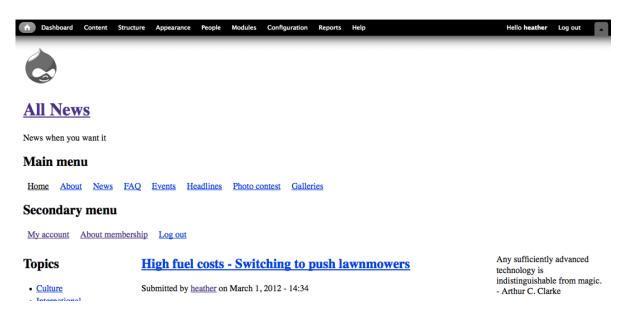
# Home » Administration Set and configure the default theme for your website. Alternative themes are available.





トップページを表示させると CSS が適用になっていない状態です。

# Overriding a push system



CSS を適用させるために、先程の newlook.info ファイルに CSS ファイルのパスを記入して保存します。そのパス と同じ状態で、 …/sites/all/themes/newlook/css 以下に CSS ファイルを保存します。

# Customizing your theme

```
name = A New Look Theme

description = A new visual design for my site

core = 7.x

engine = phptemplate

; Stylesheets
; ------

stylesheets[all][] = css/normalize.css

stylesheets[all][] = css/html-elements.css

stylesheets[all][] = css/layout.css

stylesheets[all][] = css/navigation.css

stylesheets[all][] = css/styles.css
```

デバックしてみると CSS が読み込まれていることを確認できます

```
| Comparison | Com
```

この CSS ファイルの読み込みは、 管理画面 -> 環境設定 -> パフォーマンス 帯域幅最適化で CSS と JavaScript を設定できます。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML+RDFa 1.0//EN"</pre>

#http://www.w3.org/MarkUp/DTD/xhtml-rdfa-1.dtd">

<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="en" version="XHTML+RDFa 1.0" dir="ltr"
xmlns:content="http://purl.org/rss/1.0/modules/content/"
xmlns:do="http://purl.org/dc/terms/"
xmlns:foaf="http://xmlns.com/foaf/0.1/"
xmlns:og="http://ogp.me/ns#"
xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"
xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"</pre>

xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"
      xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"
xmlns:sioc="http://rdfs.org/sioc/ns#"
xmlns:sioc="http://rdfs.org/sioc/types#"
xmlns:skos="http://www.w3.org/2004/02/skos/core#"
xmlns:skos="http://www.w3.org/2004/02/skos/core#"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#">
47 <style type="text/css" media="all">@import url("http://allnews.localhost:8082/sites/all/themes/newlook
                     /css/normalize.css?m49m65");
     /css/ntmalrects://dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos///dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos//dsindamos/
          @import url("http://allnews.localhost:8082/modules/system/system.messages.css?m49m65");
@import url("http://allnews.localhost:8082/modules/system/system.theme.css?m49m65");/style>
                                                        "text/css" media="all">@import url("http://allnews.localhost:8082/misc/ui/jquery.ui.core.css
          <style type
         <style type="tex
@import url("btt
@import url
@import url
@import url
@import url
/css/contex</pre>
                                                                   BANDWIDTH OPTIMIZATION
                                                                   External resources can be optimized automatically, which can reduce both the size and number of
         <style type
@import url
@import url
@import url
@import url
@import url</pre>
                                                                   requests made to your website.
                                                                    Aggregate and compress CSS files.
         @import ur.
         @import ur
@import ur
@import ur
@import ur
@import ur
                                                                    Aggregate JavaScript files.
          <style type
/css/ctool:
                                                                      Save configuration
          @import ur
          @import ur
          @import ur!
45 @import url("http://allnews.localhost:8082/modules/shortcut/shortcut.css?m49m65");
46 @import url("http://allnews.localhost:8082/modules/toolbar/toolbar.css?m49m65");</style>
```

#### 日本語の管理画面

ホーム》管理》環境設定》開発

#### キャッシュをクリアー

すべてのキャッシュをクリアー

#### キャッシュ

□ 匿名ユーザー向けベージをキャッシュする

□ ブロックをキャッシュする

#### キャッシュの存続期間

30分 ▼

キャッシュされたページは最低でもこの時間が経過するまで再生成されません。

#### キャッシュされたページの期限

30分 🔻

外部キャッシュが古いバージョンのベージを利用できる最終期限。

#### CAPTCHA

The CAPTCHA module will disable the caching of pages that contain a CAPTCHA element.

#### 帯域幅最適化

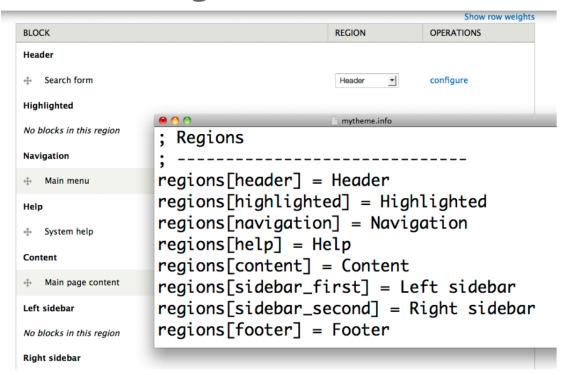
外部リソースは自動的に最適化することができ、これによりあなたのウェブサイトに対するリクエスト数およびサイズの両方を削減できます。 ▼ CSSファイルをまとめて圧縮する。

▼ JavaScriptファイルをまとめる。

設定を保存

Newlook.info ファイルに、表示ブロック(ブロックリージョン)を定義します。

# Region order



まったく別のデザインテンプレート (Gratis) のブロックリージョン サンプルとして



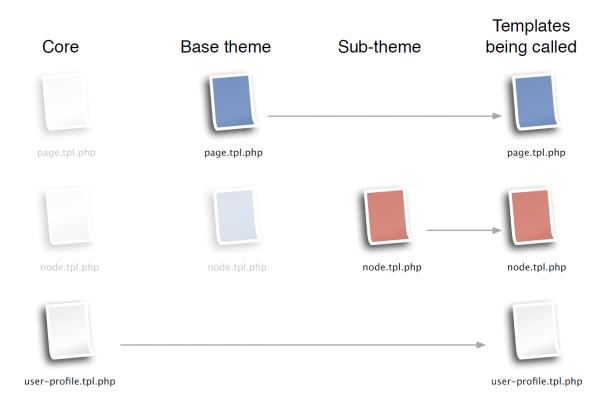
Newlook.info ファイルに設定したブロックリーション名は、管理画面 -> サイト構築 -> ブロックで表示させたいブロック名として取り扱うことができます。



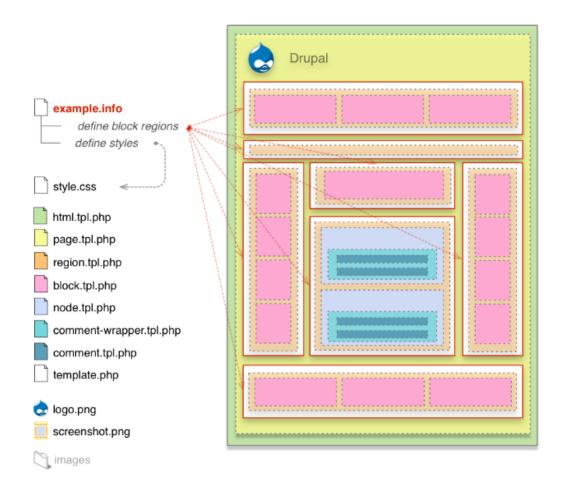
デザインテンプレートファイルの継承関係

ベーステーマ、サブテーマの関係

## Inheritance



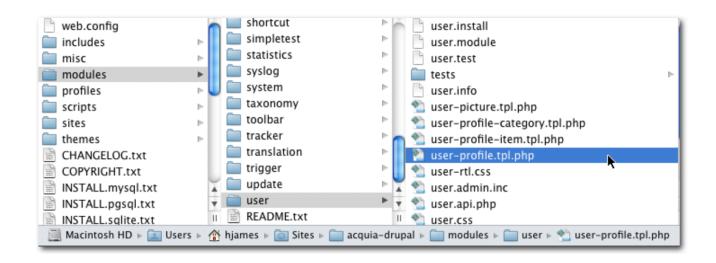
Drupal 7 のデザインテンプレートと使われるファイルの概要。 英文ですが各ファイルの概要は https://www.drupal.org/node/171194 に説明があります。



#### テンプレートファイルの簡単な実習

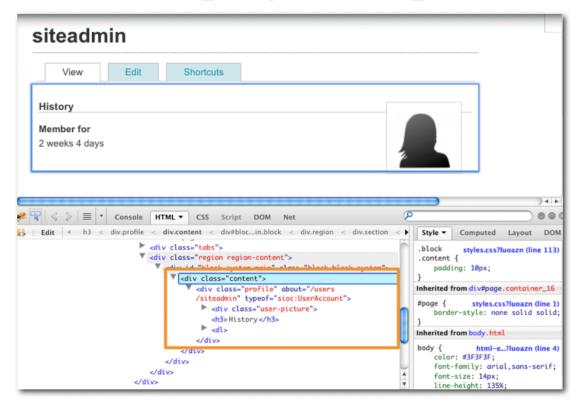
Drupal 7 のコアに入っているテンプレート、user-profile.tpl.php ファイルを使って実習します。
…/modules/user/user-profile.tpl.php

## Core has template files



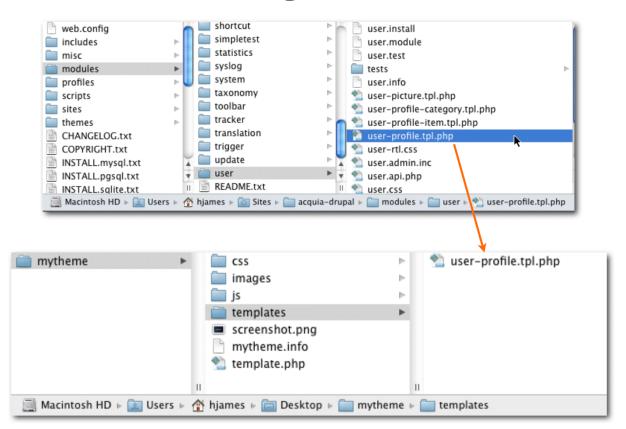
User-profile.tpl.php ファイルの内容

## User profile output



その user-profile.tpl.php ファイルをテンプレートファイルにコピーします。

## COPY to your theme



その user-profile.tpl.php ファイルに、H1 タグで文字を追加します。

### <h1>HELLO THERE!!</h1>

<div class="profile"<?php print \$attributes; ?>>
 <?php print render(\$user\_profile); ?>
</div>

実際に user-profile.tpl.php ファイルに HELLO THERE!! こんにちは!! という文字を追加して、管理画面で



「ようこそ・・・さん」をクリックして、

ユーザプロファイルをみると以下のようになります。ユーザ情報に写真をアップしていない場合は、写真は表示されません。

### HELLO THERE!! こんにちは!!

#### 履歴

ユーザー<u>登録から</u> 2年 2ヶ月



Drupal7 のコアに入っているユーザプロファイルのテンプレートを使って、今使っているデフォルトテンプレートにだけ、修正したユーザプロファイルを表示させる設定を実習しました。

Drupal7 では、テンプレートファイルの名前で読み込みするルールが定義されています。

詳細は https://www.drupal.org/node/1089656

## Naming patterns

based on core	template pattern	custom template
node.tpl.php	node <b>nodeid</b> .tpl.php	node15.tpl.php
block.tpl.php	blockregion-delta.tpl.php	block <b>sidebar-first</b> .tpl.php

#### node--[type|nodeid].tpl.php

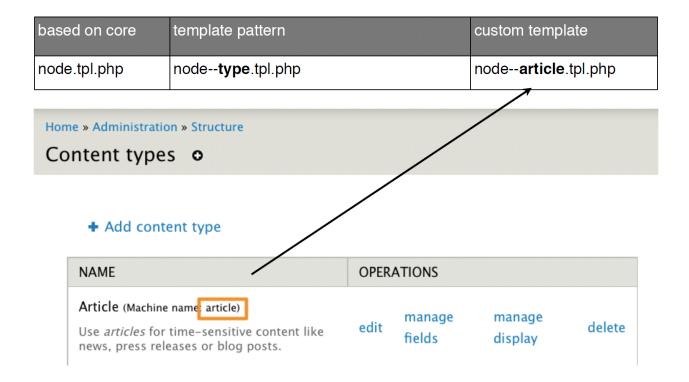
Template suggestion of Sadhttp://drupal.org/node/tle089656ic template to the least. Drupal will use the most specific template it finds:

- 1. node--nodeid.tpl.php
- 2. node--type.tpl.php
- 3. node.tpl.php

See node.tpl.php in the Drupal API documentation for more information.

テンプレートファイルで使用するマシン名は、各コンテンツタイプのノードの定義になります。

## Use machine names



#### ホーム》管理》サイト構築

#### ◆ コンテンツタイプの追加

名前	操作
Article (システム内部名称: article) Use <i>articles</i> for time-sensitive content like news, press releases or blog posts.	編集
Basic page (システム内部名称: page) Use <i>basic pages</i> for your static content, such as an 'About us' page.	編集

#### テンプレートのまとめ

- ・テーマファイルに SQL を記入することはしません。
- ・最良の使い方として、画像などのサイズ変更はサーバ側(管理画面 > 環境設定 > 画像スタイル)で設定します。CSS では設定しないようにします。



## ベーステーマでサブテーマを使ってみよう

#### Omega の場合

ダウンロード https://www.drupal.org/project/omega

Version 7.x-5.0-alpha1

インストール後、管理画面 -> テーマ で fluxtheme を選択します。 Fluxtheme はベーステーマ Omega のサブテーマです。サンプルとして使います。ただし、このサブテーマの内容は、Omega のバージョンアップなどで、最新版に更新されますので、このサブテーマをもとに自分のテーマを作成します。Omega は Drupal の管理コマンド Drush コマンドで管理する方法がメインです。 Drush omega-export -revertで新しいサブテーマを作成します。

参考まで Omega4 のテーマ作成 <a href="http://friendlymachine.net/posts/getting-started-omega-4">http://friendlymachine.net/posts/getting-started-omega-4</a>
<a href="Drush">Drush コマンドが使えない場合は、https://www.drupal.org/node/2132039</a> にて手順を確認します。<a href="https://www.drupal.org/node/2132039">Drush コマンドが使えない場合は、https://www.drupal.org/node/2132039</a> にて手順を確認します。

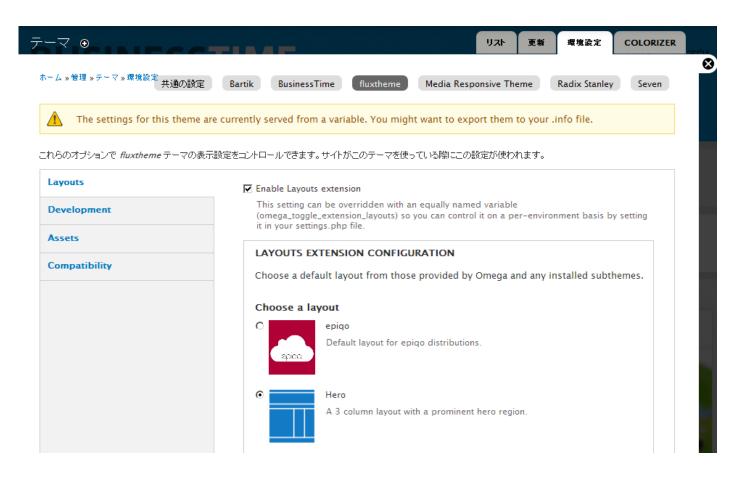
サブテーマを新規作成できない場合でも、テストは可能です。インストール後、管理画面 -> テーマ fluxtheme を選択

左の Layout メニューで Enable Layouts extension をチェック ON にするいくつかのレイアウトパターンを選択

開発時に、必用であればデバックモードにする

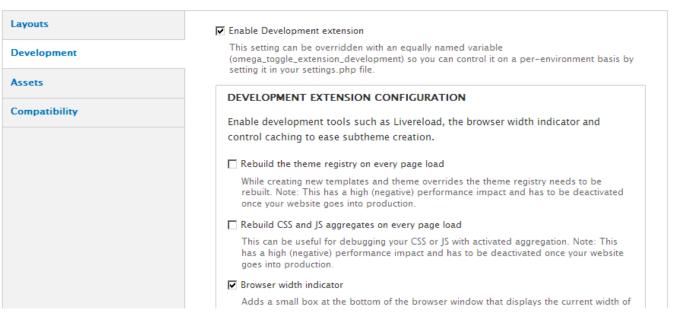
左の Development メニューで Enable Development extension をチェック ON にする。その下の項目も必要な機能はチェック ON にします。

#### Layout





これらのオブションで fluxtheme テーマの表示設定をコントロールできます。サイトがこのテーマを使っている際にこの設定が使われます。



新しい CSS は、テンプレートの CSS を編集するか、css injector モジュールなどを使って設定します。

CSS\_injector モジュール https://www.drupal.org/project/css\_injector

管理画面 -> 環境設定 -> 開発 css\_injector

ホーム

#### タイトル \* custome1

CSS code \* Disable syntax highlighter

```
.field-group-htabs-wrapper.group-industry-type.field-group-fieldset { font-size: 20px;
   display: inline;
    #edit-field-industrytype.field-type-list-text.field-name-field-industrytype.field-wiget-options-buttons.form-wrapper
   font-size: large;
10
   } */
11
12
13
14
   @charset "UTF-8";
15
16
   17
18
       Web Designing 2007/10
テンプレート用ベース CSS
19
       この CSS には,テンプレートの基本的な設定・共通設定が
20
21
```

#### Themes to show on

{{Name}}
ST Fiddle
fluxtheme

#### Adaptivethmes の場合

サブテーマを活用

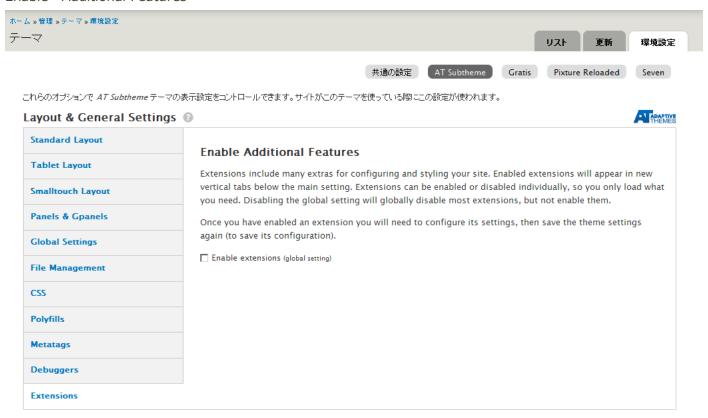


#### AT Subtheme 7.x-3.2

Copy this subtheme to get started -README. Drush users can generate need help please use the **issue que** 

環境設定 無効 デフォルトに設定

#### **Enable Additional Features**



Custom CSS

Global Settings	again (to save its configuration).  Enable extensions (global setting)			
File Management				
CSS	☐ Fonts			
Data-Ella	Apply fonts to site elements (page, titles, headings, menus and custom selectors). Supports websafe, custom and Google fonts, and @font-your-face integration.			
Polyfills	☐ Title styles			
Metatags	Fine grain control over case, weight, alignment and CSS3 text shadows for page title, node, comment and block titles.			
Debuggers	☐ Image alignment and captions			
Extensions	Set default image alignment, image captions and teaser image view.			
	Apple touch icons			
	Check this setting if you want to use touch icons for iOS, Android and Nokia devices.			
	☐ Unset CSS Files			
	Options to unset (exclude) CSS files from loading in your theme – includes settings for Core modules, CSS added by Libaries and your own declared exclusions (see your themes info file under "Stylesheets").			
	▼ Custom CSS			
	Enter custom CSS rules for minor adjustment to your theme. Useful if you do not want to build a sub-theme and need modifications to survive theme upgrades if required.			
	☐ Mobile Regions and Blocks			

#### CSS の定義



## デザイン勉強用の環境

Acquia Dev Desktop2 のダウンロード、インストール https://www.acquia.com/downloads

次の章でインストール作業を確認します。

## Acquia Dev Desktop 2 Beta 2014 年版

Drupal スタック環境、Acquia DevDeskTop 2 Beta を使ってみましょう。PHP のバージョンを選べたり、既存 Drupal サイトのバックアップデータをインポートできます。豊富な機能が追加になりました。

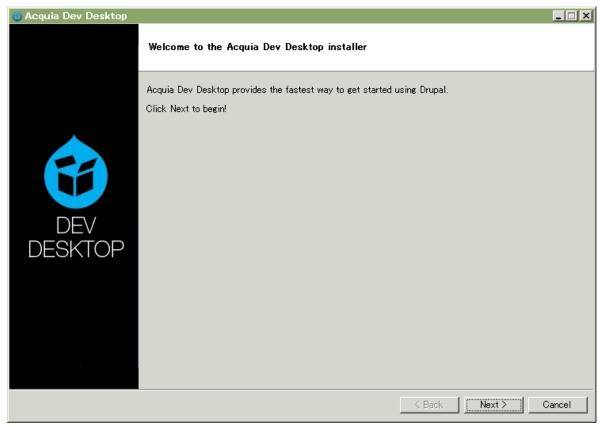
#### Acquia DevDesktop のインストール

Beta 版のダウンロード: <a href="https://www.acquia.com/downloads">https://www.acquia.com/downloads</a>

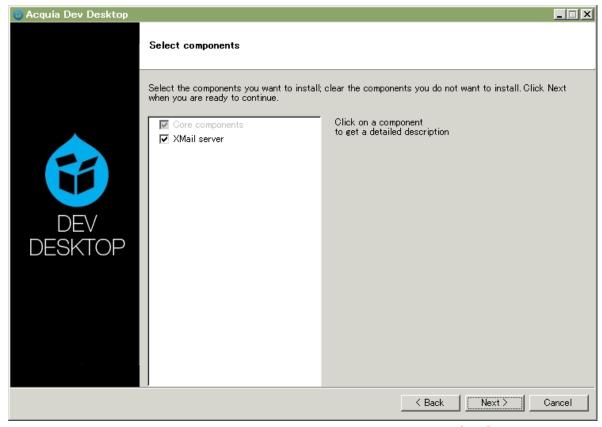


英文のマニュアル https://docs.acquia.com/dev-desktop2

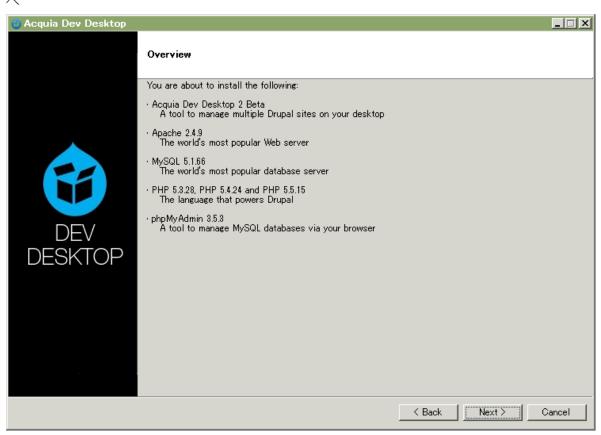
Windows でのインストール



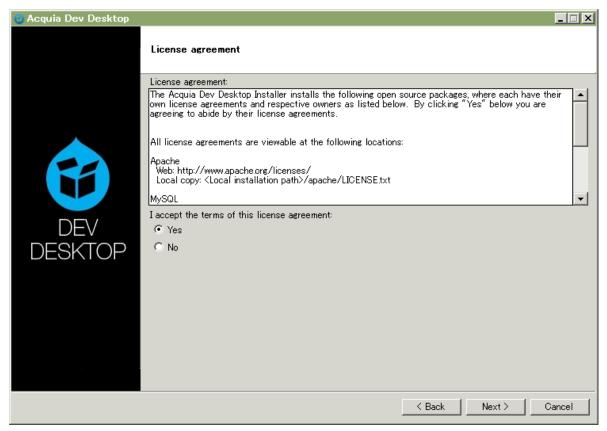
Next をクリック



XMail server は Windows の PC でメールを送信できるようにする SMTP プログラムです。実行できる状態で Next



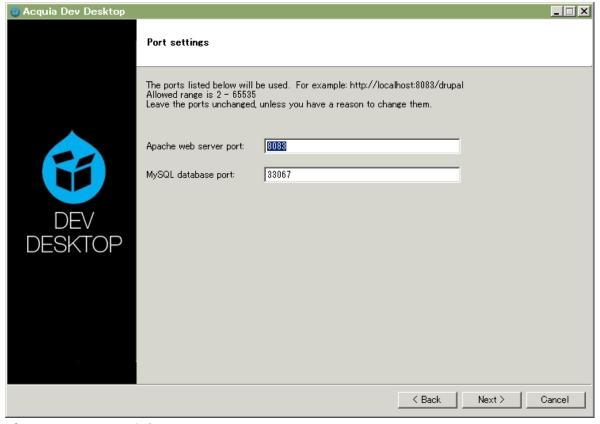
内容を確認して Next へ



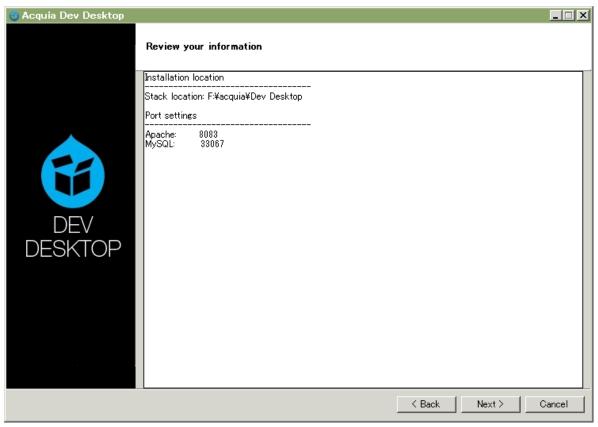
ライセンス OK として Next



任意のインストール先を指定して、Next



ポートは問題なければデフォルトで Next



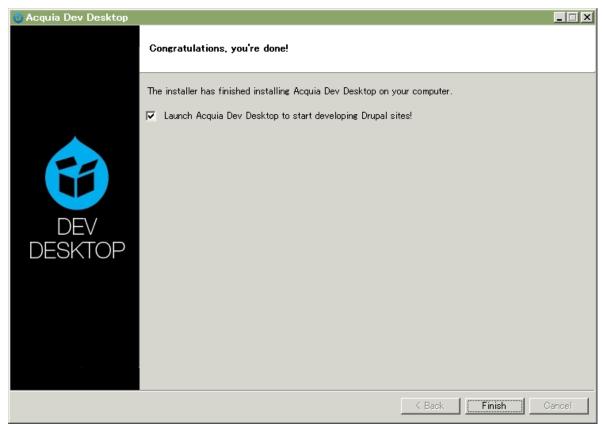
内容確認後、Next



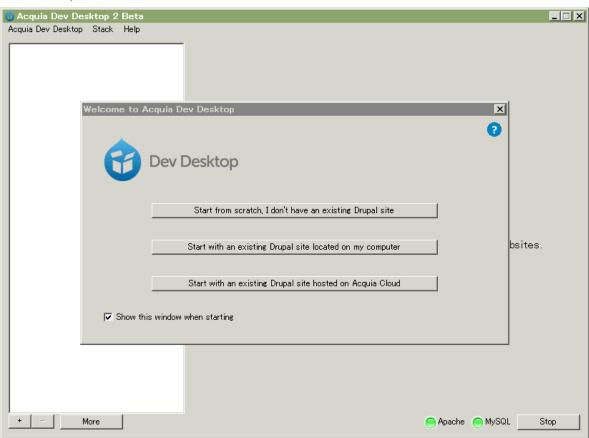
Next でインストール開始



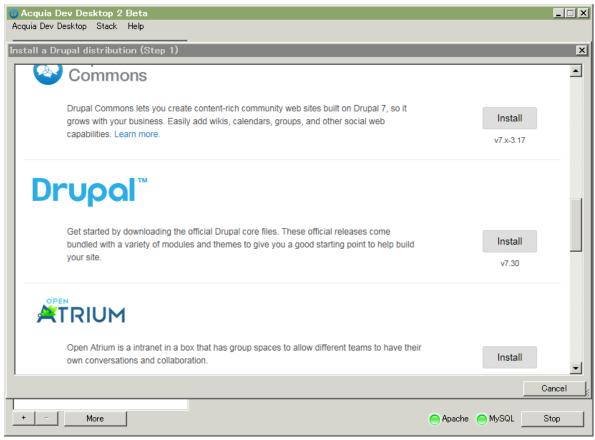
インストールで上記の警告が表示された場合、「アクセルを許可する」をクリック



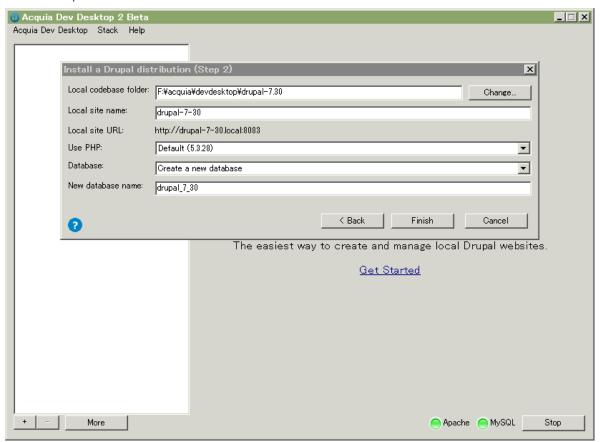
DevDesktop のインストール完了です。Finish をクリック



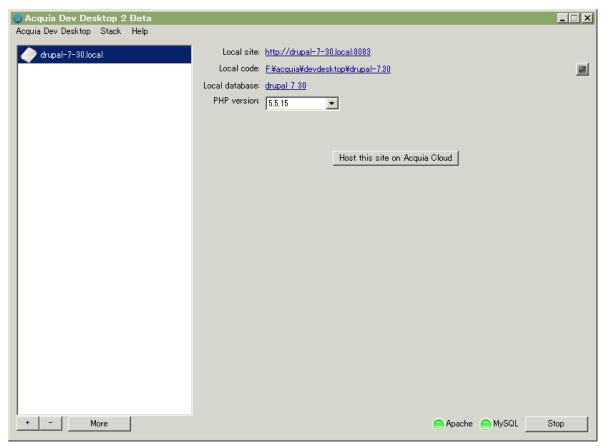
Drupal をインストールします。 一番上の Start from scratch, ….. を選択し



標準の Drupal 7.30 をインストールします。 Install をクリック

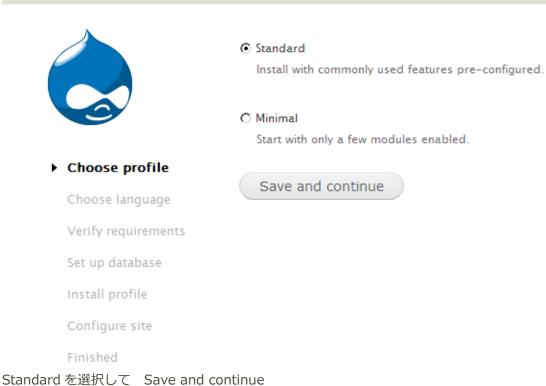


PHP は最新版を選択して、Finish をクリック。Drupal のインストールが始まります。



Local site のリンクをクリック

### Select an installation profile



### Choose language



© English (built-in)

Learn how to install Drupal in other languages

Save and continue

#### ✓ Choose profile

#### ▶ Choose language

Verify requirements

Set up database

Install profile

Configure site

Finished

そのまま Save and continue をクリック

SITE INFORMATION	
Site name *	
drupal-7-30.local	
Site e-mail address *	
Automated e-mails, such as registration information, will be sent from an address ending in your site's domain to help prevent these e-mail as spam.	

SITE MAINTENANCE ACCOUNT	
Jsername *	
paces are allowed; punctuation is not underscores.	t allowed except for periods, hyphens, and
E-mail address *	
Password *	
	Password strength:
Confirm password *	
pussivoru	

Japan	
Select the d	fault country for the site.
Default ti	ne zone
	ne zone Thursday, August 28, 2014 - 13:38 +0900
Asia/Tokyo	

Japan を選択して Save and continue



Congratulations, you installed Drupal!

Visit your new site.

✓ Choose profile

✓ Choose language

英語版の Drupal 7 がインストールできました。サイトの管理画面で英語から日本語に変更します。

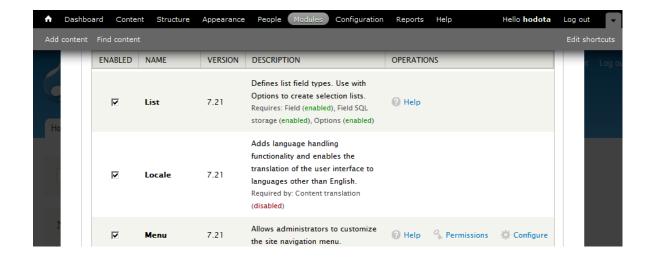
#### 英語環境から日本語へ

ここからの文章は Drupal 7 のバージョンが古いですが、7.30 に合わせて下さい。

#### 管理画面

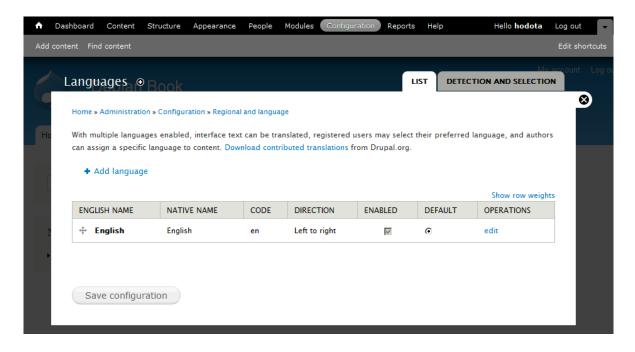
標準のコアモジュールでは多言語で使用する Locale モジュールは組み込まれていますが、有効になっていないので有効にします。

管理画面 -> modules -> Core にある Locale をチェックし、「Save configuration」をクリックします。

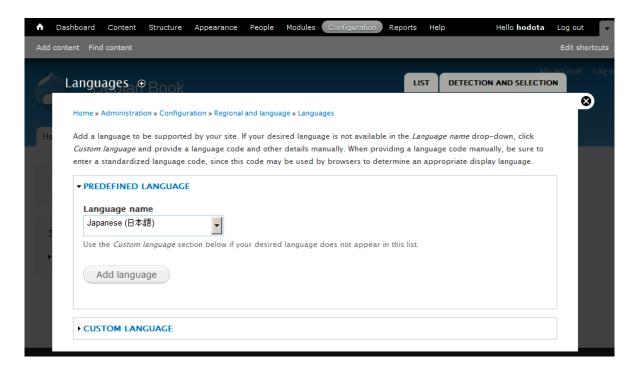


英語の他に、日本語も使えるように設定します。

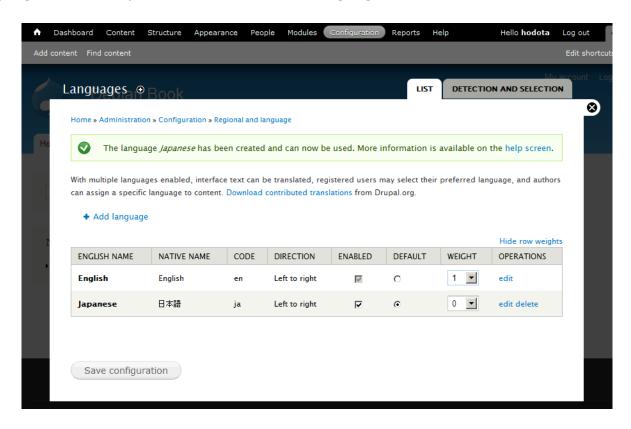
#### 管理画面 -> Configuration -> REGIONAL AND LANGUAGE の Language



上記の Add language をクリック



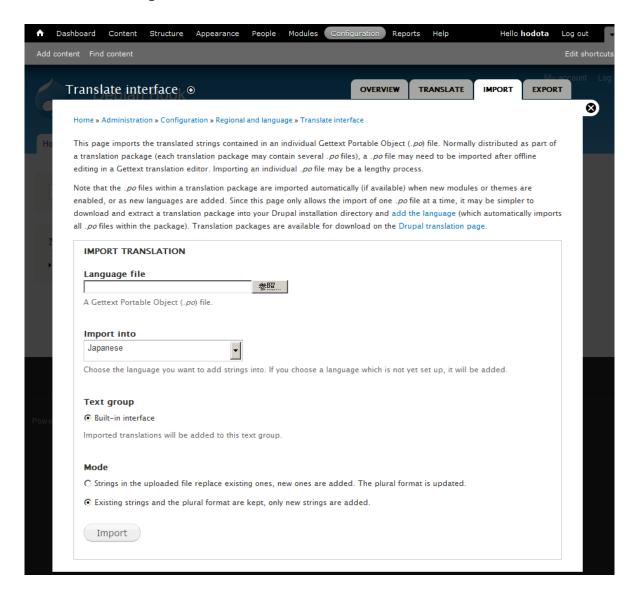
Language name で Japanese を選択し、「Add language」をクリック



Show row weights をクリックして言語の優先順位とデフォルトを設定します。Japanese をデフォルト、Weight を 0、English を 1 にすることで最初の優先順位に設定します。「Save configuration」をクリック

次に日本語ファイルのダウンロードとインポートを行います。

#### 管理画面 -> Configuration -> REGIONAL AND LANGUAGE の Translate interface



Translate interface が表示されたら、IMPORT のタグを選択して、上部文章中の Drupal translation page をクリックして http://localize.drupal.org/translate へ移行します。



#### **Translations**

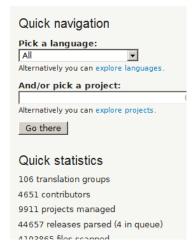
#### Drupal translations

Welcome to Drupal project translations! This service is used by translators from around the world to maintain localizations of all projects on drupal.org. Just pick your language and you'll be able to download existing work and contribute to the translations.

Install Drupal localized with translations from here using Localized Drupal. You can also set it up to contribute to these translations right from your Drupal site! For already installed sites, use the Localization update module to download the right translation files for the right projects you use.

Read more about how localize.drupal.org works and how can you contribute in the drupal.org handbooks.

Language	Drupal core progress	Contributors
Afrikaans		11
Albanian		4
Amharic		1



#### このサイトで Japanese を選択します

## **Drupal** Translations

Translations Homepage Logged in as hodota Log out

### Japanese overview

Overview Board Translate

#### 日本語翻訳チームへようこそ!

Drupal を日本語で快適に使えるようにするため、あなたもチームに参加して翻訳貢献をはじめてみませんか? 著 名なサイトを含め世界中で使われている Drupal というムーヴメントに参加している事がきっと実感できますよ!

#### 初めての方は最初に、そうでない方も時々、以下のベージをご覧になってください

- 日本語翻訳チーム FAQ (Updated)
- 翻訳ガイドライン
- 対訳表
- リンク集
- 翻訳に便利なツール集
- Drupal日本語ローカライズ版 簡単インストール方法
- Drupal日本語化手順(既存インストールの場合)

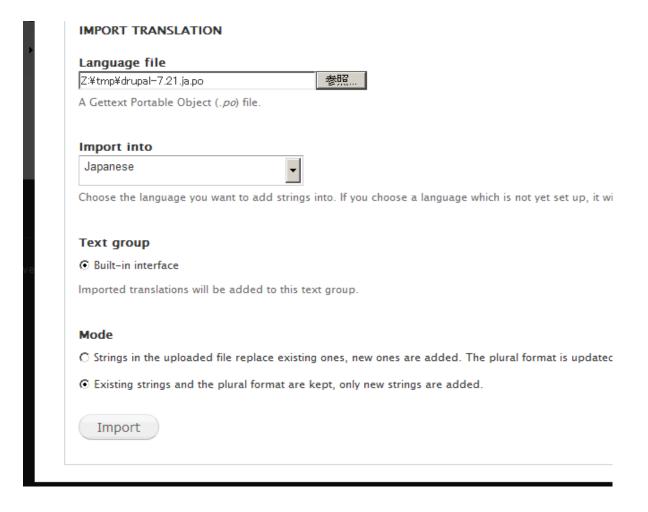
#### Top downloads

#### Drupal core

Project	Version	Downloads	Date created	Up to date as of
Drupal core	5.23	Download (507.42 KB)	2011-Mar-10	2011-Jul-14
Drupal core	6.28	Download (605.63 KB)	2013-Jan-16	2013-Dec-10
Drupal core	7.23	Download (748.42 KB)	2013-Aug-09	2013-Dec-09
Drupal core	8.0-alpha4	Download (560.77 KB)	2013-Dec-09	2013-Dec-09

バージョンは最新のバージョンを選択して下さい。たとえば、Drupal core 7.23 Download を選択します。ファイル名 drupal-7.23.ja.po です。

管理画面に戻り、Translate interface の IMPORT タグでダウンロードした(drupal-7.23.ja.po)Language file をインポートします。 参照ボタンをクリックし、ファイルを選択後、デ フォルトの設定で、「Import」をクリック



インポートが終了すると日本語が表示されます。

### Theming Drupal 6 and 7

Drupal の Web デザインを作る基本、Drupal 6 と7を中心に説明

https://www.drupal.org/theme-guide/6-7



#### Community Documentation

Community Docs Home Develop for Drupal Theming Guide Glossary Contribute to Doc

## Theming Drupal 6 and 7

Last updated October 24, 2014. Created on August 28, 2007. Edited by pbulebar, camorim, jhodgdon, 3lackRos3. Log in to edit this page.

There were several changes in the theme system between Drupal 6 and 7. This guide contains information on both.

The default theme for Drupal 7 is Bartik, and for Drupal 6 is Garland.

For a collection of useful materials for themers, see Theming and Front End Development with Drupal.

**Please note**: Not all information has been updated for Drupal 7, but more information is continually being added about Drupal 7 theming.

- How the Drupal theme system works
- Working with CSS
- Working with JavaScript and jQuery
- Advanced theming
- Core templates and suggestions
- · Drupal User Profiles with CiviCRM Contact Fields
- Overriding themable output

CSS Class Changes between D7 and up How the Drupal theme system works > D8

## How the Drupal theme system works

# How the Drupal theme system works

Last updated October 24, 2014. Created on November 21, 2008. Edited by camorim, DSquaredB, Carolyn, rootwork. Log in to edit this page.

Pages in this section describe the way the Drupal theme system operates, theme components and settings, .info files and page templates. This section is a starting point for creating a new custom theme.

- · Overview of theme files
- · Writing theme .info files
- Default .info values
- · Assigning content to regions
- Theme settings
- · Clearing the theme cache
- Creating a sub-theme

Theming Drupal 6 and 7

up

Overview of theme files >

### Working with CSS

# Working with CSS

Last updated October 24, 2014. Created on December 1, 2008. Edited by camorim, batigolix, davidneedham, jhodgdon. Log in to edit this page.

Most modern web pages use external style sheets to control the presentation of a page. In a traditional static HTML page, a pointer to a style sheet must be manually placed within the HTML code (usually within the page header).

Here's an example:

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/mytheme.css" />
```

This code simply tells the browser where to find one of the style sheets (mytheme.css) that controls the appearance of the page.

To the browser, a page from a Drupal site might look exactly the same: the HTML header has the same kind of pointers to external style sheets. The key difference is that behind the scene, those pointers are added to the HTML automatically. Some styles might come from the theme itself and others might be supplied by various Drupal modules (to provide default styling for the module output).

You can add new style sheets to a theme and you can override a default style sheet from Drupal core, contributed modules or even another theme.

- Overriding style sheets from modules and base themes
- Adding style sheets
- Adding styles through the API
- · Live css with .less support
- · Sass techniques and tools
- Standard Drupal core styles and classes
- · Supporting "right to left" (RTL) languages

Example: Creating a Garland Subtheme That Utilizes the Color Module up

Overriding style sheets from modules and base themes >

Working with JavaScript and jQuery

# Working with JavaScript and jQuery

Last updated February 24, 2015. Created on August 28, 2007. Edited by mr.baileys, camorim, rovo, williamdelvalle. Log in to edit this page.

Using JavaScript adds dynamic presentation effects to a theme. In addition to custom JavaScript files many Drupal developers find jQuery useful. jQuery is a lightweight JavaScript library which is built into Drupal. jQuery contains all the common DOM, event, effects, and Ajax functions.

Drupal 7 includes jQuery 1.4.4 and jQuery UI 1.8.7. Drupal 6.0 to 6.2 included jQuery 1.2.3 while Drupal 6.3 includes an update to jQuery 1.2.6. For use in module development which requires a later version of jQuery, apply the jQuery update module. When JavaScript is added to a page through Drupal, jQuery is automatically added to the page.

More comprehensive information on the JavaScript APIs and the use of JavaScript in Drupal can be found in the Developer Guide.

For more information about jQuery visit the jQuery API and Documentation site.

Drupalize.Me offers a free, 11-minute video introduction to using jQuery in Drupal 6&7... Intro to jQuery in Drupal

## Adding JavaScript

### Advanced theming

# Advanced theming

Last updated October 24, 2014. Created on May 6, 2011. Edited by camorim, 3lackRos3, ThePeach, thomaske. Log in to edit this page.

This section goes beyond basic theming concepts, and discusses more ways you can extend your theme.

These topics are good ones to be familiar with to master the art of theming.

Drupalize.Me offers a free, 14-minute video on using PHP for theming. It covers the basics of PHP for those who consider themselves a beginner in PHP programming:

PHP for Themers

- · Creating advanced theme settings
- · Custom theme for custom form 6.x
- · Theming Custom Entities
- · Theming forms in your theme
- Targeting different devices

Using Newer Versions of jQuery

up

Creating advanced theme settings >

## Core templates and suggestions

# Core templates and suggestions

Last updated October 24, 2014. Created on March 11, 2011. Edited by camorim, Carolyn. Log in to edit this page.

Core comes with a number of default template files. In order to override these templates, all you need to do is copy them into your theme folder and clear the theme registry.

You can also override these templates in a more targeted way.

This section lists the default templates in Drupal core and explains how to create more targeted template files.

In Drupal 6, some template files could be overridden in a targeted way. For example, the theme could contain a "node-article.tpl.php" file which would be used for nodes of the article type only.

In Drupal 7, these need to be renamed to use a double-hyphen. For example, "node--article.tpl.php". A single hyphen is still used to separate words: for example, "user-picture.tpl.php" or "node--long-content-type-name.tpl.php", so the double hyphen always indicates a more targeted override of what comes before the "--".

See Converting 6.x themes to 7.x for more info.

- · Core templates
- Drupal 7 Template (Theme Hook) Suggestions
- · Drupal 6 Template Suggestions

< Adding browser-specific style sheets

up

Core templates >

### **Drupal User Profiles with CiviCRM Contact Fields**

# Drupal User Profiles with CiviCRM Contact Fields

Last updated July 1, 2014. Created on April 7, 2014. Edited by drupaledmonk, awasson. Log in to edit this page.

Drupal's user profile page or user's account page in its OEM form seems somewhat bland when compared with the rest of Drupal and it also seems a bit limited when compared to the theming capabilities that are available for the majority of a Drupal sites pages and content. This article discusses techniques that can be used to improve the customization options for developers/themers to personalize user profile pages without writing reams of spaghetti code; in particular when Drupal is used with CiviCRM.

This page is in no way the complete and definitive method for customizing the user profile so please correct, update and add to it as required:

## Custom user-profile.tpl.php

### Overriding themable output

## Overriding themable output

Last updated October 24, 2014. Created on December 2, 2008. Edited by camorim, oadaeh, eojthebrave, Carolyn. Log in to edit this page.

Depending on how your site is configured, the HTML code that makes up each page in your site is compiled from the output of various Drupal modules.

## About modifying HTML markup

If the default HTML markup supplied by any module does not suit the requirements of your theme, you can override some or all of it, so that the resulting page is exactly what you need for your design.

For example, you might decide that for your site, the default search box should have an image of a magnifying glass and that the label on the search button should read "Discover great stuff!" rather than the default label of "Search". You can completely override the default markup, so that the markup calls for your image file and that the button is labeled the way you want.

### Don't hack core

## Tools, best practices and conventions

# Tools, best practices and conventions

Last updated December 12, 2014. Created on December 2, 2008. Edited by dmfoley, SarahShealy, Heine, Tor Arne Thune. Log in to edit this page.

This section presents best practices and conventions for theming Drupal through a discussion of general tools and techniques for developing websites.

Although the information about working with CSS, HTML, and image files is not specific to Drupal, you may find it helpful in getting started with theming.

There is one developer tool of interest to themers: the Theme Developer module (a former sub-module of Devel), which exposes theme API information.

For information on UI standards, see the Drupal UI Guidelines.

- Creating accessible themes
- · Safe theme development
- · Theme coding conventions
- · Theming the Drupal maintenance page
- · Adding your theme to Drupal.org
- · Cross-browser testing
- ▶ Feature detection
- Modules for theming
- Recommended target browsers
- Related programs and applications
- Creating a screenshot for the appearance page (7.x)
- Creating a screenshot for the administration page
- · Making your theme semantically correct
- Doctype, XML, and XHTML

Architectural view of theming

up

Creating accessible themes >

## Upgrading a theme to a new version

# Upgrading a theme to a new version

Last updated April 17, 2013. Created on November 20, 2004. Edited by brst t, Heine, arianek, bekasu. Log in to edit this page.

If you upgrade a site from one version of Drupal to another, you must take specific steps to make your theme compatible with the new version.

Always test the modifications on a separate development server before moving to a production site.

- Upgrading 7.x themes to 8.x
- Upgrading 6.x themes to 7.x
- Upgrading 5.x themes to 6.x
- · Changes affecting themers in later versions of Drupal

Ooctype, XML, and XHTML

up

Upgrading 7.x themes to 8.x >

## More theming resources and guides

# More theming resources and guides

Last updated April 10, 2013. Created on May 5, 2011. Edited by SarahShealy, Heine, Carolyn. Log in to edit this page.

In this section, you will find links to resources and guides on theming.

- · Guides and videos on Drupal 7 theming
- Guides and videos on Drupal 6 theming

 Changes affecting themers in later versions of Drupal up

Guides and videos on Drupal 7 theming

>

#### Theme HowTos

## Theme HowTos

Last updated October 24, 2014. Created on May 13, 2005. Edited by camorim, Heine, SLIU, LeeHunter. Log in to edit this page.

The following section provides a collection of 'How-to' articles on subjects relevant to theme developers. For a selection of useful code samples, see the Theme Snippets section.

- Add Default Menu to node without menu
- · Change the favicon
- · Clearing floats with class="clear-block"
- · Collapsing default fieldsets: Tidying up the theme settings form
- · Convert any website layout or template into a Drupal theme easily!
- · Create a Views event list grouped by month
- · Create a new custom theme with CSS alone
- · Create a web / ipad / facebook page friendly site with the zeropoint theme
- Creating and rendering CSS templates (eg. style.css.php)
- · Custom ul list-style
- Customize the User Edit page in Drupal 7 an example
- · Customize the front page template
- · Customizing core and/or contributed themes
- · Displaying random images
- · Dynamic Image Headers through Taxonomy Terms
- · Enable submit via Enter key on Ajax forms
- Hide the Node Title on a Page (6.x)
- How To Add Most Recent Blog Entries by User List to Users Profile Page
- · How to edit ALT tag on your site logo
- · How to use images for NEXT and PREV links
- · Image stretch in Internet Explorer
- Look and feel
- Move the help/description text on node forms
- · Moving \$tabs to a new region -- made easy
- · Overriding Theme Templates in Drupal 6 and 7
- · Porting A Joomla Template To Drupal a simple approach.
- · Prototyping XHTML/CSS with Drupal
- Put an HTML non breaking space ( ) in menu items titles
- · Recipe for two column block of recent comments
- Rounded Corners in Drupal 7 (jquery corner)
- Static and Dynamic Thumbnails for Facebook
- · Style a horizontal login block in the footer
- · Subtheming Quick and Dirty
- · Theming CCK fields within a content type
- Theming Web-Form
- · Tips for designing themes in Dreamweaver, GoLive etc.
- · Using the CSS Template module
- · Welcome User custom block

 Guides and videos on Drupal 6 theming up

Add Default Menu to node without menu >

### Theme snippets

# Theme snippets

Last updated July 3, 2013. Created on January 19, 2006. Edited by LeeHunter, Heine, SLIU, NonProfit. Log in to edit this page.

This section is intended to encourage modular theme development and to share custom code with a view of building a **Drupal Theme Designer Knowledge base**.

The snippets you will find in this section, are for use with PHPTemplate based themes (the default theme engine since Drupal 4.7), with the exception of the snippets in the subsection Engine Independent Snippets. Most of these snippets were written for Drupal 5 and earlier. The code may need some modification before they can be used in Drupal 6 and later.

For an introduction to snippets, see A Beginner's Guide to Using Snippets.

#### Notes

- PLEASE NOTE! Snippets are user submitted. It's impossible to test them all so it is up to
  the user to test them before using! Don't just copy and paste them without checking first on
  a test site.
- · Please note that the snippets may contain some database queries specific to MySQL.
- Before submitting your own snippets, please read the guide to adding your own snippets so
  we can maintain consistency to this section of the handbook. Try to keep the pages
  instructional (simple steps 1, 2, 3, etc.) rather than explanatory.
- · A guide to adding your own snippets
- Customizing Blocks
- Customizing Contributed Modules
- Full page layout and section-related Snippets
- Menu-related snippets
- Node layout and display snippets
- Theme-switching and CSS-switching by page snippets
- User login and registration form snippets
- Customizing the user list layout
- Customizing the user profile layout
- Customizing blog layouts
- Customizing the breadcrumbs
- Customizing the forum
- Customizing the pager (next, previous navigation)
- · Customizing the search forms
- · Customizing the site logo and name based on path
- Add newlines to theme item list
- · Add zebra striping classes to menu link items in Drupal 7
- · Adding an embedded player for audio in 5.0
- Alternating Teaser Classes
- · Block Visibility And Parent Term CSS Class Function
- · CSS code you need to know
- · Change submit buttons to images for a given form
- Customize node links
- Debugging: display all Drupal variables at the bottom of a page

#### **Core themes**

## Core themes

Last updated July 3, 2013. Created on March 20, 2011. Edited by LeeHunter, SarahShealy, Heine, Christopher James Francis Rodgers. Log in to edit this page.

Drupal 7 comes with the following core themes:

#### Bartik

This is the default theme in Drupal 7.

#### Seven

Designed to be a clean administration theme.

#### Stark

This theme contains very little styling. It is designed to show Drupal's default HTML markup and CSS styles.

#### Garland

Garland has been a part of Drupal since Drupal 5, and has been updated for Drupal 7 core.

- ▶ Bartik
- Seven
- Stark
- Garland

Split a text field into multiple columns, up like a newspaper/magazine article. Bartik >

#### **Contributed themes**

## Contributed themes

Last updated June 3, 2013. Created on November 29, 2007. Edited by markcarver, Heine, mariolina, mrf. Log in to edit this page.

You can download one of the many community-created themes from the drupal.org site and customize it as much as you want. In fact, some themes have been specifically designed to be used as frameworks for custom zation or to be extended with sub-themes.

You must install and configure each theme individually on your machine. You should only use a theme that is available for your Drupal version.

The following list is just a sample of some useful themes. More themes are being constantly added to the site. You can find the latest themes in the Drupal contributed themes section.

For a list of recently created or updated themes, see releases tagged with "Themes" term (also available as an RSS feed). You can also display a list of theme project pages sorted by last update.

For information on where to install a theme, see the installing themes page.

NOTE: Not all contributed themes are listed here, and some of these docs have not been updated to the most current theme version. Please help by contributing documentation for those that are not listed here and by updating those that are. When possible, work with the theme contributor to ensure accuracy.

- Types of Contributed Themes
- 0 Zilch
- Acquia Marina
- Acquia Slate
- Adaptivetheme Docs

# クレジット、謝辞、ライセンス

### クレジット

このマニュアル作者は、Gennai3株式会社の程田和義です。

お問合せ 電子メール hodota@gennai3.co.jp 電話 044-220-1588

### 謝辞

本マニュアル作成は、主に以下のサイトを参考にしました。心より感謝いたします。

出典: https://Drupal.org

## ライセンス

Drupal は Dries Buytaert による登録商標です。その他本マニュアルで使われている製品および名称については、それぞれの所有者の商標または登録商標です。